

1 単 元 名 は な

2 指導要領の目標と内容

(1) 目 標

身近かに見られる生物を探したり世話をしたりさせて、生物の著しい特徴に気付かせるようにするとともに、生物に親しむ楽しさを味わわせる。

(2) 内 容

いろいろな植物を探したり、葉、花、実などを使った活動をしたりさせながら、それらの色、形、汁などの特徴に気付かせる。

3 活 動 例

何気なく見ていた花を見直させ、いろいろな色、形のあることに気付かせる。

校地内の花を使った活動例

例1 校庭の花だんに花を見にいこう

※ 春だけでなく、年間を通して適切な機会に、その季節の状態に応じた活動をさせるようにする。

※ 花を見る時の留意点

- どんな花が咲いているか。
- あした咲きそうな花はどれか。
- いいにおいのする花はどれか。
- 好きな花を選ぶ。
- 落ちている花びらを集める。
- 花の咲いている植物名をおぼえさせる。



例2 花の名前のあてっこをしよう。

※ 好きな花を選ばせ、その花の特徴を発表し、花の名前をあてさせる。

※ 特徴を示すために花の形や、葉の形を身体を使って表現させ、見せ合いながら表現を深める。

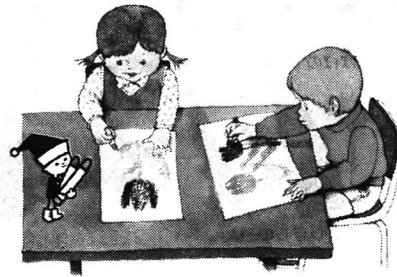


(大日本図書)

(教育出版)

例3 花だんをつくろう

※ チューリップの花を画用紙にかかせてそれを切り取りさせる。それにわりばしで支柱をつけ、発泡スチロールの魚箱に立てて並べさせ、花だんを作る。それを実際のチューリップと色、形、大きさなどを比べさせ、作り変える活動をする。



(学校図書)